



第57回 (平成28年度)

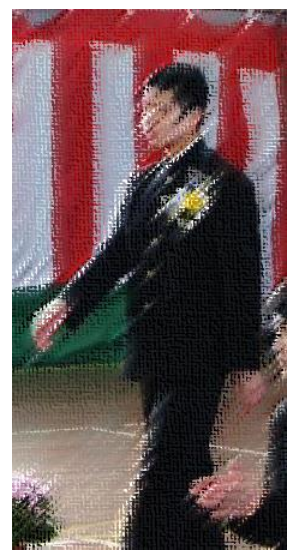
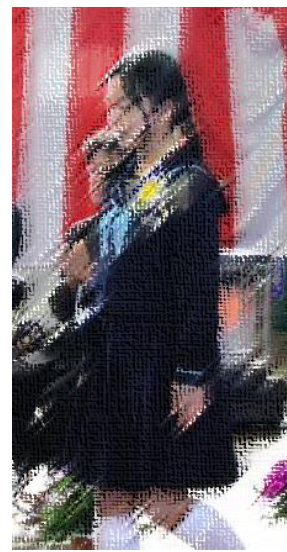
益田市立西南中学校

卒

業

式

春の陽ざしが温かくふりそそぐ中、たくさんの方に見守られ、西南中学校の卒業生3名が卒業していきました。卒業生の「巣立ちのことば」を紹介します。



いよいよ今日この日を迎えることになりました。変わらぬ仲間と変わらぬ毎日がいつまでも続く気がして、西南中で過ごす最後の日が来るなんて考えてもいませんでした。たった三年間ではありましたが、僕たち三人は数えきれない思い出を作ることができました。



僕の一番の思い出は稲作体験です。初まきから始め、田植え、収穫、お米の販売に至るまで様々な体験をすることができました。その中でたくさんの地域の方々に力を貸していただき、学校だけでなく地域も合わせてみんなでお米を育てているという気持ちになることができました。そんな気持ちを込めて作ったお米を買っていただいた方々から、「おいしかった」という手紙をいただいた時は本当にうれしく思いました。

そしてもう一つ思い出に残っていることは部活動です。一年生の夏からは、たった三人だけの部活動となり、寂しい思いもありましたが、お互いに切磋琢磨し、毎日練習に励んでいました。二年生になってからは新入部員も入り、練習も活気づき、県総体出場を目標にさらに努力を積み重ねていきました。結果的に僕たち三人は、目標は叶いませんでしたが、互いに競い合うこと、認め合うことで得られる仲間との絆、努力したからこそ感じることのできる充実感などたくさんの大切なことを学ぶことができました。





三年のときに行った修学旅行。大都会の大阪と京都に行くことは不安でしたが、二泊三日の修学旅行で忘れられない思い出をつくることができました。まず最初に驚いたことがホテルの部屋や食事がとても豪華だったことです。ホテルでの食事は本当においしくて今でも忘れることができません。京都での自主研修は、事前に計画を立てて、とても楽しみにしていました。



バスの時間や見学地までのルートなど調べていたにもかかわらず計画どおりいなくて大変でしたが、地元ではできないとても良い体験ができました。USJでは思う存分、アトラクションを楽しむことができました。二泊三日というとても短い時間でしたが、学ぶことも多く、たくさんの思い出をつくることができました。そして何より、三日間みんなと一緒に過ごし、共に笑い、共に感動した時間は私にとってとても大切に、ずっと忘れることはないでしょう。みんなと過ごした二泊三日の修学旅行。この素敵な思い出を私は絶対に忘れません。

二年のときから始まった昼休みのバドミントンも、忘れられない思い出の一つです。先生方や後輩達と一緒に、毎日のようにバドミントンをして遊びました。みんなであわいもない話で盛り上がり、一緒に笑いあったりした時間はわたしにとってかけがえのない本当に楽しい時間でした。先生方と仲良くなるきっかけでもありました。先生方や後輩たちとバドミントンができて本当によかったです。楽しい時間をありがとうございました。

私の心に残っていることの一つに和太鼓があります。私は二・三年生と和太鼓リーダーを務めました。一年生のころは正直ただ間違えずに叩こうとくらいしか考えていませんでした。でも和太鼓のリーダーになってからは自分が誰よりもしっかりと叩かなければといった使命感が生まれ、和太鼓に対する姿勢が変わってきました。今福さんの「自分の殻を破れ」という言葉が私は一番好きです。恥ずかしいという思いを捨てて自分をさらけ出すことができたとき、その言葉の意味を実感することができました。これから先の人生、自分の殻を破って、新しいことにチャレンジしていきたいと思います。



私は益田市と島根県の弁論大会に出場しました。最初は自分の弁論に対して熱が入らず本音が出せませんでした。自分の思いはあるけれど、どう伝えればいいのかわからないし、ずっと抱えていたモヤモヤもどうしていいかわからなかったからです。でも何度も何度も自分に問いかけ、何度も書き直す中で何が言いたいのか見えてきました。暑い中での練習は大変だったけれど、今は弁論をやって本当によかったと思っています。地域の方や友だちや先生が、「がんばって」と声をかけてくださったこと、私は絶対に忘れません。

この三年間、先生方や友だちと当たり前のように過ごしてきた毎日でしたが、今はその一日一日がとても大切な思い出で、それは私たちにとってかけがえのない宝物です。皆さんと過ごした時間は決して忘れません。本当にありがとうございました。

今日卒業を迎え、西南中学校を旅立つ私達。この大切な宝物を胸に、私達はそれぞれの道を歩いていきます。

平成二十九年 三月十一日

卒業生一同



2017年3月15日発行
益田市立西南中学校

三世代交流事業は公益財団法人
JK Aの「地域ふれあい交流活
動補助事業」の支援を受けて実
施しています。



RING!RING!
プロジェクト
オートレースの補助事業